

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2021年9月15日（火）18:30～20:25

場 所：Zoom ミーティング

出席者：理 事：荒嶋、安藤、飯島、五十嵐、伊藤、尾山、加藤、北川、黒岩、小板橋、才藤、
坂口、庄野、関根、高木、平松、三輪

監 事：石原

顧 問：大谷、児玉

オブザーバー：臼田、鈴木、吉田

（敬称略）

尾山理事の進行により、Zoom ミーティングによる会議開始時点での参加人数（理事の出席13名）が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、会長が議長となり、議事録作成に小板橋理事、議事録署名については平松理事を指名した後、昨年3月から Web による理事会となっているが、ワクチン接種が進む中で今後の道筋を含めて検討していく旨の挨拶があり、下記議案を審議した。

<審議事項>

1. 今後のレース開催 小網代カップなど

飯島レース委員長から、小網代カップは高木フリートキャプテンが中心となり開催することで準備を進めているが、リビエラから10月末のリビエラスワンアジアレガッタの共同開催の打診が来ており、これが直近のレースとなる。また、10月の湘南レース及び小網代フリートレースは緊急事態解除に伴い実施の方向であることが確認された。なお、リビエラスワンレガッタについては理事会承認事項であり、感染対策等が講じてあれば反対する理由がないことやリビエラが開催を切に望んでいることから、詳細について飯島レース委員長に一任することで本件は承認された。

2. ワクチン接種が進んだ後のレース開催基準

庄野会長から、ワクチン接種が進んだところでのレース運営等について議論していき今後の方向付けをしたいとの提案があり、各理事から 緊急事態宣言下でのレースは原則するべきではない、レースを安全に実施する方向で大まかなルールを作る、ワクチン接種またはPCR 検査結果の報告及び当日の検温等安全対策を実施する、オーナーや艇長の判断に重きを置きたい、主催者としての責任とリスクをどう捉えるか、開催場所（地元）の様子を見極めるなどの意見が述べられた。庄野会長がこれらの意見を纏めて、後日メール配信することで、引き続き検討することとなり、本件は継続審議となった。

3. コロナ禍の会員サービス

庄野会長から、レース活動が出来ていない中で会費を納めて頂いている会員へのサービスについて、新たな提案の提起が依頼されたが各委員からの意見はなく、本件は継続審議となった。

4. その他

庄野会長から、来年の予定について以下の提案があり、了承された。

- ・監査：1月14日（金）
- ・理事会：1月19日（水）、
- ・総会及び総会前理事会：2月15日（火）
- ・理事会：3月15日（火）

関根理事より、Zoom 理事会の活用提案があり、今後は本形式による理事会も活用していくこととなった。

< 報告事項 >

1. みさきヨット無線局 定期検査結果

石原監事から、三崎ヨット無線局設備の定期検査が7月19日に、児玉顧問、石原監事そして検査を行う山本電機2名で実施した。無線機の法律改正に伴い、装置が古いことからペンディングがついた申請となるとともに、JSAF 所在地の変更も必要となった。山本電機から関東総合通信局へ申請したが、結果には数か月かかるとのこと。新しい免許はその後の手続きとなるとの報告があった。

坂口理事から、支払いに関しての質問があり、未払金としての処理を想定して、石原監事から山本電機に概算請求書の提出をお願いすることとなった。

2. 湘南レース・KFR・トランスサガミ・ショートハンドチャレンジ等中止レース

尾山理事から、表記レースは周知の件であるが、飯島レース委員長からその他として7月の相模湾オープンヨットレースは開催されたが、MOSC は協力から降りたとの報告があった。

3. 9 / 2 5 外洋団体長・事務局長会議（Web）

庄野会長から、Web での会議に庄野会長および坂口事務局長が参加し、後日報告を回覧するとの報告があった。

4. JSAF 関連

平松理事から、9月3日外洋常任委員会、9月4日 JSAF 理事会が開催され、会議議事録または抜粋を配信しているので、主要点を報告する。役員人事があり、会長が河野氏からサマーガールの馬場氏に代わった。外洋三崎からの提案で、横浜パラオレースは2024年に予定し、その後パラオ沖縄レース、沖縄レースの3レースで検討しているが、前回レースの会計関係が不透明であるとの意見があり、先行きが見通せない状況である。来年 JSAF 理事選挙があり、女性上位4名と男性上位4名が決まりそれ以下は男女問わず3名が決まり、MOSC 投票権は男性2票、女性2票

となる。JSAF 定期表彰については11月11日が連盟からの提出締め切りである。

庄野会長から、MOSC の立ち上げに尽力頂いた大谷顧問を推薦する旨の発議があり、了承された。

さらに、故山崎 JSAF 名誉会長のしのぶ会について、JSAF、ニッポンチャレンジ、早稲田大学ヨット部 OB 会が発起人となり12月5日 日曜午後6時から開催を予定している。

5. オリンピック関連

児玉顧問から、オリンピックについての報告があり、レース艇が240艇に対して運営に係わる艇はほぼ700艇で凄い光景であった。なお、他の国は既に次回オリンピックに向けて動き始めていることから、日本も早く対応を検討して実施していかなければならないと思う。

6. その他

平松理事から、JSAF からロゴ入りのクールマスクが7月から販売されているので、是非購入して欲しいとのことであった。

坂口事務局長から、4団体忘年会についてはコロナ禍のなか今年も昨年同様に開催せずとし、KFR 表彰は郵送等状況次第としたい旨の提案があり、了承された。

次回の理事会は11月10日（水）で原則 Zoom である旨伝達され、以上で本日の議事をすべて終了し、20時25分に閉会した。

以 上

2021 年 9 月 30 日

議事録署名人